

# 学校行事参加型＋講演会型＋子育てサロン型（幼稚園）

学校名等	本巣市立系貫西幼稚園
実施日時	平成28年6月24日（金）9:45～12:00
会場	年少組3学級 及び 遊戯室
参加人数	44人＋3人
学習課題（分野）	絵本の読み聞かせのおもしろさや大切さ
運営者の願い	「絵本タイム」での読み聞かせで、絵本に興味をもったり楽しみに見たりする年少児が増えてきた。家庭でも楽しめるように園の絵本を貸し出している。そこで、保護者に家庭で絵本を読んでもらう時の楽しさやおもしろさ、絵本の読み聞かせの大切さを学び、親子で読み聞かせを楽しんでほしい。

## 学 習 の 内 容

### <年少組での読み聞かせ参観>

“絵本タイム”が設定されており、読み聞かせが定期的に行われている。講師の天野先生が、園児に読み聞かせをされる様子を保護者が参観する。絵本の読み聞かせの方法やそれを聞く子どもの反応をじっくり参観した。絵本は「ぶたのさんぼ」「どろあそび」「にこちゃん」の3冊。



### <講演会> 「絵本の読み聞かせのおもしろさや大切さ」

講師：「ぶう文庫」代表 天野 知子 氏

絵本の読み聞かせ時の様子から「子どもの視点の違い」を指摘された。子どもは、絵を読み、表現されているものを敏感に感じ取り、言葉と絵をつないで学んでいる。どこに心を寄せているかは、十人十色。子どもの反応に敏感になり、子どもの心に寄り添うことが大切。読み聞かせを通して、親子で一緒に楽しむ時間を大切にすることで、親子の信頼関係づくりができる。

長机2本に多くの絵本が準備され、手に取って読むことができる。



子どもは「もう一回、もう一回！」と叫ぶ。「じゃあ、もう一回ね。」と約束する。短い本でよいので、子どもと向き合い一緒に読む。子どもが、「読んで！」と要求した時に読むことで、約束を守ってくれる親という信頼関係ができる。「あとで」と言っただけで片づけないことが肝である。

本は子どもに選ばせてほしい。図書館で好きな本を選ばせ、読み聞かせてもらうことで、本好きになる。図書館利用は、ただで文化をいただくことができる。何回も読んでほしいという本は、買う事もお勧め。

生の声を沢山聞くことで人間らしさを育むことができる。読み聞かせは、色々な栄養を蓄え、将来につながる気持ちのよい時間の共有ができる。読み聞かせは、幸せな時間であり、人間らしさを育む。

### <質疑>

Q「年齢が違う場合の読み聞かせ方は？」

A「1歳5ヶ月の子には、音や繰り返しの出てくる本。絵を読む本は「くまさんのさんぼ」「これのりまき」がお勧め。兄弟に読む時は、下の子に合わせるとよい。でも、読み聞かせに型があるわけではないので、親子で楽しんでほしい。」

### <閉会>

委員長さんのまとめの言葉。

「今、この時期を大切に、読み聞かせを親子で楽しみたい。」



### <クラス別懇談会> ⇒ <給食参観>

・3クラスが輪になって、懇談を行い、それぞれの思いを交流し合った。その後、給食参観もあり。



★発達段階を考慮して、年少児対象の学級。

★絵本の読み聞かせのスタートの重要性から『絵本の読み聞かせのおもしろさや大切さ』講演会を実施。



★学習形態の組み合わせで参加率も満足度もUP！



- ①行事：読み聞かせ参観
- ②講演：「絵本の読み聞かせのおもしろさや大切さ」
- ③懇談：子育てサロン
- ④行事：給食参観

★年間10回学級開催  
全て組み合わせで実施  
子育てサロンは6回



★参加保護者への配慮

- ①子どもの姿を参観して講演を聴く
- ②保護者にも読み聞かせ
- ③絵本を手にとれるよう多く展示する
- ④講演会場に乳幼児の遊び場を準備している  
(泣いたりぐずったりに対応)